

科目名 (科目番号)		遺伝子関連検査学 総合講義 (時間割参照)	教員名 伊藤 慶	学科等	臨床検査	選択	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	講義	オフィスアワー	前期月2・後期木4 B319研究室室	
授業概要		1年次、2年次の生化学、分子生物学、遺伝子関連検査学の講義・実習で習得した知識と実践実技を総合的に統合し教示する。						
目的・目標		目的：これまで学んだ生化学・分子生物学・遺伝子関連検査学の知識をもとに、それらの分析方法や目的を理解して、遺伝子にまつわる知識を体系的に把握する。 目標：臨床検査技師に必要な遺伝子分野の知識を説明できる。						
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	医学的な基礎知識 遺伝子関連検査に必要な知識		到達目標：大学で習得した知識の総復習し、遺伝子に関わる医学知識を理解する。 学習内容：生化学、分子生物学をまとめて学修する。				
	2	生化学的遺伝子知識①		到達目標：遺伝子に関わる生化学を理解する。 学習内容：生化学的遺伝子関連知識を総合的に学修する。				
	3	生化学的遺伝子知識②		到達目標：遺伝子に関わる生化学を理解する。 学習内容：生化学的遺伝子関連知識を総合的に学修する。				
	4	分子生物学 総合①		到達目標：分子生物学を総合的に理解する。 学習内容：分子生物学知識を総合的に学修する。				
	5	分子生物学 総合②		到達目標：分子生物学を総合的に理解する。 学習内容：分子生物学知識を総合的に学修する。				
	6	遺伝子関連検査 総合①		到達目標：遺伝子関連検査を総合的に理解する。 学習内容：遺伝子関連検査を総合的に学修する。				
	7	遺伝子関連検査 総合②		到達目標：遺伝子関連検査を総合的に理解する。 学習内容：遺伝子関連検査を総合的に学修する。				
	8	遺伝子関連検査 総合③		到達目標：遺伝子関連検査を総合的に理解する。 学習内容：遺伝子関連検査を総合的に学修する。				
成績評価の方法・基準		期末試験（100％）						
教科書		最新臨床検査学講座 遺伝子・染色体検査学		東田修二		医歯薬出版(2024)		
参考図書		「遺伝子検査技術」改訂第3版		一般社団法人日本遺伝子分析科学同学院 遺伝子分析科学認定士制度委員会		宇宙堂八木書店		
教員からのメッセージ		生化学・分子生物学・遺伝子関連検査学で使用した資料を利用しますので、事前に予習しておいてください。 生化学・遺伝子分野を積極的に勉強してくれると嬉しいです。						